

平成26年2月6日

千葉木鶏クラブ

(347回 例会)

我が国は借金大国ではない !

アベノミクス二年目となりますが景気回復感ないままに消費税アップが目の前、経済的には不透明感が漂います。

第一の矢、「大胆な金融緩和」は株高・円安、恩恵は大企業と金融機関。第二の矢は、「積極的な財政政策」、年金支給と生活保護手当の減額、恩恵はゼネコン・軍事関連企業。第三の矢は、「成長戦略」世界で一番企業が活動しやすい国は労働時間に縛りなく、首切り自由、恩恵は大企業。首尾一貫して負担は庶民。

稲毛新聞 論説委員 入野先生共々に経世済民について検証しましょう。

どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブです。

皆様のお越しをお待ちしています。

記

1. 日 時 : 平成26年2月22(土)

PM 9時30分 ~12時00分

2. 場 所 : 千葉生涯学習センター ☎043-207-5811

<交通案内> JR千葉駅東口から 徒歩8分 駐車場有り

3. 会 費 : 1000円

4. 講 師 : 入野 守雄 氏 (稲毛新聞 論説委員)

<プロフィール>

- ・東京都中野区出身、法政大学経済学部(昭和34年卒)
- ・小野田セメント(株)(現 太平洋セメント)入社。
- ・小野田レミコン(株)社長 平成10年退職
- ・稲毛新聞(15万部)論説委員として活躍中

5. レジュメ

(1) 我が国は世界一外国に金を貸している債権大国である。借金国ならば円は暴落する。

(2) 米国の格付け会社「ムーディーズ」は日本国債、最貧国「ボツアナ」と同じ最低に格下げ。

日本経済弱体化のため増税を命じ、構造改革、規制緩和を強要。「不良債権強行処理」「配偶者特別控除」「老人控除廃止の増税」「後期高齢者制度で75歳以上負担増」「相続税の増税を謀り国民の資産蓄積を否定」「契約社員4割という閉塞社会」

(3) デフレ脱却のアベノミクス

①第一の矢が2%のインフレまで金融緩和、デフレギャップを補う「高速道路」「ハブ空港」「リニア新幹線」「ミサイル技術向上」これらを公共投資に回せば円高で米国から貿易黒字の『1000兆円のお金を取り戻せる。

②第二の矢、日銀は日本国債を500兆円買えば国債残高は半減。マスコミは年間130倍のハイパーインフレになると喚いた。金融緩和は、米国と連合軍組織(国際連合)から恫喝。

③第三の矢、規制緩和ネットで薬剤師不要で誰でも薬の販売ができる。

(4) グローバリズムは、民主的な資本主義経済を否定する唯物思想である。

千葉木鶏クラブ 代表兼事務局 丸島 忠夫

Email: marushima_t@snow.plala.or.jp Tel: 07-0475-25-1211 Fax: 0475-38-5153

